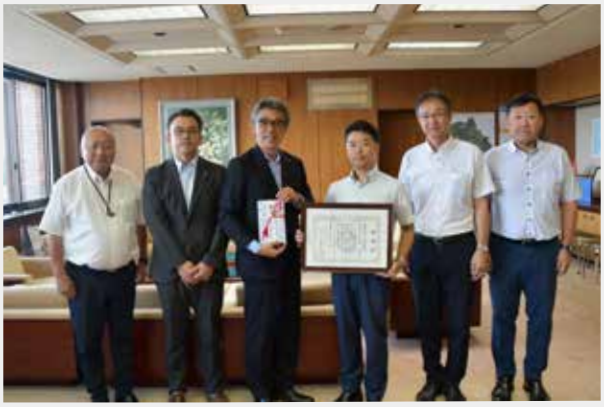
地域課題の解決に向け
㈱アオバヤと協定を締結

市と株式会社アオバヤ（アドポス盛岡センター）は９月７日「包括的な連携に関する協定」を締結しました。本協定は高齢者や子どもなどの見守り、空き家や不法投棄に関する情報提供など、地域課題の解決に向けて幅広く連携・協力するものです。締結式で、高橋亙（たかはしわたる）代表取締役社長は「協定を通じて、市の役に立てればと思います」とあいさつしました。



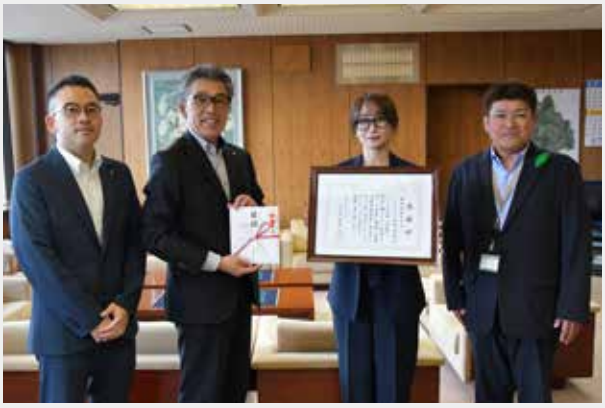


㈱中嶋製作所が寄付
地方創生事業の推進に

企業版ふるさと納税の感謝状贈呈式が８月28日、市役所で行われました。今回の企業版ふるさと納税は、市内大崎に営業所を持つ株式会社中嶋製作所（本社：長野県長野市）から市の地域再生を図る事業に対し、寄付されたものです。同社からの寄付は今回で２回目で「Out of KidZania in 滝沢 2027」などに活用する予定です。

㈱キクサーが寄付
大好きな滝沢のために

企業版ふるさと納税の贈呈式が９月９日、市役所で行われました。今回の企業版ふるさと納税は、株式会社キクサー（本社：盛岡市茶畑）から産業人材育成事業に対し、寄付されたものです。同社は、本市出身の武田春恵（たけだはるえ）代表取締役が起業したＩＴ企業です。市ＩＰＵイノベーションセンター入居企業とも多くの連携事業を行っています。





最新の設備を配備
滝沢ライスセンター竣工式

ＪＡ新いわて滝沢ライスセンターの竣工式が９月７日、大沢地区で行われました。

同センターは令和６年11月に着工。今秋の新米から滝沢産の米の乾燥調整が行われる予定です。新岩手農業協同組合の苅谷雅行（かりやまさゆき）代表理事組合長は「このセンターは一等米比率の向上や地域ブランド力向上などに寄与するものと思っています」と期待を述べました。

たきバス出発式開催
実証運行期間は運賃無料

福祉バスと患者輸送車を再編した新たなコミュニティバス「たきバス」の出発式が10月2日、柳沢地区コミュニティセンターで行われました。国土交通省東北運輸局岩手運輸支局の小野寺実支局長（おのでらみのる）は「市民の皆さんには、ぜひ自分たちのバスとしてたきバスを育てていただきたい」と期待を述べました。同バスは令和9年3月末までは無料で利用できます。





広がる創造力は無限大
ノーベルのたまご展表彰式

第11回ノーベルのたまご展の表彰式が9月12日、滝沢ふるさと交流館で行われました。

ノーベルのたまご展は、同展実行委員会が主催し、市内の小中学生が夏休みなどに取り組んだ工作や自由研究などの作品を募集し展示したものです。表彰式では、119作品の中から市長賞や実行委員長賞などに選ばれた子供たちが賞状と記念品を受け取りました。

地域おこし観察日記 11月号
～隊員2人による交換日記～

氏名：隅谷　百葉隊員
「儲かる農業のしくみづくり」をメインミッションとして活動しています。



引き続き市内の八漱葡萄酒（はっそうぶどうしゅ）さんの圃場で農業研修を行っています。9月は、主にブドウの収穫をお手伝いしながら活動していました。

4月から研修で育てていたブドウが美味しい実をつけたことがとてもうれしく、充実感を得ることができました。自分が関わった農産物がおいしいワインになることを期待しています。また、冬に農業研修が少なくなった時に新たな取り組みを行なえるように、6次産業化の勉強など今のうちから準備をしていきたいと思っています。

◆次号の大瀧雄二隊員へ一言！

これからさらに活動の幅を広げたいと思っています。大滝さんは、活動の幅を広げるためにどんなことに取り組んでいますか？



イノベで立地調印式
㈱アチカが新たに入居

市と株式会社アチカ（本社：秋田県秋田市）は9月30日、市ＩＰＵ第2イノベーションセンターで調印式を開催し企業立地協定を締結しました。同社は主に公共団体のシステム導入・運用保守からネットワーク構築事業を展開しています。堀江裕也（ほりえゆうや）代表取締役社長は「さまざまな皆さまと共創しながら新たなビジネスを展開していければと思う」と話しました。